

平成 30 年 8 月教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成 30 年 8 月 20 日 (月) 午後 2 時 00 分から

2 場 所 教育プラザ 大会議室

3 出席者

教育長 野澤 朗 1 番委員 徳道 茂 2 番委員 中野 敏明
3 番委員 濱 祐子 4 番委員 本間 倫子

(教育長及び委員以外の出席者)

教育次長 早川義裕、教育部長 柳澤祐人、教育総務課長 金子良仁、教育総務課参事 藤田賢一郎、教育総務課参事 山口 将、学校教育課長 親跡久樹、社会教育課長 小池兼一郎、社会教育課参事 川上裕一、文化行政課長 中西 聡、スポーツ推進課長 田中秀明、スポーツ推進課参事 石澤克明、教育センター所長 歌川 孝、高田公園オーレンプラザ館長 笹川桂一、高田図書館長 内藤祐子、直江津学びの交流館長・直江津図書館長 柴山弥松、青少年健全育成センター所長 山崎光隆、歴史博物館長・小林古径記念美術館長 宮崎俊英、新水族博物館整備課副課長 若山秀樹 事務局 教育総務課副課長 内藤香織、塚田美和子、企画係長 加藤義浩、企画係主任 森 敦子

4 傍聴人 なし

5 会議に付議した事件

議案第 52 号 上越学生寮奨学金貸付条例の一部改正について

議案第 53 号 上越市駐車場条例等の一部改正について

議案第 54 号 平成 29 年度上越市一般会計（教育費）歳入歳出決算認定について

議案第 55 号 平成 30 年度上越市一般会計（教育費）補正予算要求について

議案第 56 号 平成 29 年度上越市第 2 次総合教育プランに基づく教育委員会の施策の点検及び評価について

教育長開会宣言 午後 2 時 00 分

会議録署名委員の指名 中野 敏明 委員

教 育 長	議案第 52 号から 55 号について、上越市教育委員会会議規則第 15 条の規定により、非公開としたいがよいか。
委 員	全委員同意
教 育 長	議案第 52 号上越学生寮奨学金貸付条例の一部改正について上程、説明を求める。なお、ここから議案第 55 号までは冒頭のとおり非公開とする。
教育総務課長	(非公開)
教 育 長	議案について意見、質問を求める。 (意見、質問内容非公開)
教 育 長	それでは、議案第 52 号についてはご承認いただけるか。 <u>原案どおり承認</u>
教 育 長	議案第 53 号上越市駐車場条例等の一部改正について上程、説明を求める。
教育総務課長	(非公開)
教 育 長	議案について意見、質問を求める。 (意見、質問内容非公開)
教 育 長	それでは、議案第 53 号についてはご承認いただけるか。 <u>原案どおり承認</u>
教 育 長	議案第 54 号平成 29 年度上越市一般会計（教育費）歳入歳出決算認定について上程、説明を求める。
教育総務課長	(非公開)
教 育 長	議案について意見、質問を求める。 (意見、質問内容非公開)
教 育 長	それでは、議案第 54 号についてはご承認いただけるか。 <u>原案どおり承認</u>
教 育 長	議案第 55 号平成 30 年度上越市一般会計（教育費）補正予算要求について上程、説明を求める。
教育総務課長	(非公開)
スポーツ推進課長	(非公開)
教 育 長	議案について意見、質問を求める。

(意見、質問内容非公開)

教 育 長

それでは、議案第 55 号についてはご承認いただけるか。

原案どおり承認

教 育 長

非公開の審議はここまでとする。続いて、議案第 56 号平成 29 年度上越市第 2 次総合教育プランに基づく教育委員会の施策の点検及び評価について上程、説明を求める。

教育総務課長

本件の内容については、先般、7 月 17 日に教育委員の皆様からご協議いただいたものである。7 つの基本施策の、目標を達成するための事業等の実施状況と成果指標への到達状況について、いただいたご意見などを踏まえて報告書を作成した。

また、去る 8 月 1 日には有識者による外部評価として、上越教育大学の石野正彦教授、佐藤賢治研修支援コーディネーターからご意見をいただいている。いただいたご意見は、報告書の施策における取組・成果や今後の取組の記載に反映するとともに、最終ページに全体講評として記載している。

これらの意見を踏まえて、今後の施策の実施にいかしていきたいと考えている。報告書は、今後市議会へ報告し、公表する。

教育総務課藤田参事

報告書の記載内容に関して、教育委員による点検及び評価の時点から訂正した箇所について説明する。字句の修正や達成度に関わらない数値等の訂正については説明を省略する。

報告書 4 ページの成果指標の 1 番目の項目について、評価内容は小学校の国語・算数、中学校の国語・数学・英語と教科ごとに示しているが、達成状況は平均のみになっているとご指摘があったので、国語・算数、国語・数学・英語それぞれの数値を加筆した。なお、平均については、成果指標にはないが現状値には示してあるので、参考としてそのまま記載した。また、同ページの取組・成果の 3 点目について、成果の判断及び評価の基準が不明とのご指摘があったので、「また、全学年の国語、算数すべての領域別・観点別において、正答率が全国平均を超えていることからある程度の学力を確保できているといえる。」と加筆した。同じく、取組・成果の 4 点目について、小学校では差が縮まり、中学校では差が広がっていることに関してもう少し具体的に記載するようご指摘があったので、県と平均正答率の差が 0.1 であること、中学校では県及び全国の平均以下だったこと等を加筆した。

次に、5 ページの 1 点目について、各校へどのように指示・指導したかを明記するようご指摘いただいたので、全国学力調査等の結果を分析し、各校に対策等について指示したことを加筆した。

6 ページの今後の取組の 2 点目について、学習習慣等に関して、学校にとどまらず家庭への働きかけをどうするのかを記載すべきというご意見があったので、家庭との連携についての文章を加筆した。

8 ページの小中一貫教育の指導支援の充実について、1-2 の学習習慣に関わって小中の連携で進めていく部分を今後の取組に加えた方がよいとのご指摘があったので、今後の取組の 2 点目にその文章を加筆した。

11 ページの成果指標の 1 番目の項目について、人数が足りていないという評価の一方で、中学校の達成状況が 100%となっている現状についての説明が必要とのご指摘があったので、取組・成果の 1 点目に「人数が足りておらず、各校では級外職員や空き時間の職員を動員して対応している現状がある。」という文章を追加し、1 名の配置で充実はしたが、まだ人数が足りないという現状が分かるようにした。

12 ページの成果指標の 1 番目の道徳の年間指導計画の改善について、小学校 90%、中学校 86%という達成状況は、特別の教科道徳のスタートに当たり、100%でなければならない事項であるというご指摘があった。各校に確認したところ平成

30年度当初には100%になっていることが分かったので、取組・成果の1点目に、平成30年度当初には目標値を達成したという記載を追加した。評価する段階では90%、86%であったことから、次年度以降は各校に評価を求める際、年度内に目標を達成する場合は達成という報告をしてもらうなどの改善について確認した。

14 ページの健康でたくましい身体を育む教育の推進について、中学校2年生の値があまり良くないのは、当市の特徴か全国的な傾向かが分からないとのご指摘があったので、取組・成果の5点目に、「全国的にも数値が低い傾向を示している」という文章を加筆した。また、「当市は握力、上体起こし、シャトルラン、50m走といった種目で全国・県平均を下回る」という文章を加筆し、当市の特徴と全国的な傾向が分かるようにした。

17 ページの地域とともにある学校づくりへの支援について、達成状況の学校数の合計が全学校数と合致しないというご指摘があったため、2 評定の学校数の表記を追加し、合計が合うように修正した。

25 ページの成果指標の1番目の項目について、評価内容の学校図書館での児童・生徒の貸出冊数が合計か平均か分からないという指摘があったので、「児童・生徒1人当たりの年間図書貸出冊数」に修正した。

32 ページの取組・成果の2点目について、ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技と地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業対象競技の競技名を明確にするようご指摘があったので、前者が体操、野球、山岳、バレーボール、スキー、陸上で後者が空手であることを明記した。

教 育 長

12 ページの100%で目標を達成しているという説明の中の、今年度というのは平成30年度のことか。平成29年度の取組・成果を書いているのに、平成30年度のことを書く必要があるか。

教育総務課藤田参事

平成29年度中に見直しを行い、平成29年度末には達成したということである。

教 育 長

そうであれば、平成29年度末と書いた方がいいのではないかと。議案について意見、質問を求める。

中 野 委 員

35、36 ページの有識者からの意見については、私も大変納得した。これをできるだけいかして次の段階に進めてもらえばいいと思う。学力の問題について、全国学力・学習状況調査は、参考にしている人には悪いが、成果指標の中に入れる必要はないのではないかと。それよりも標準学力検査(NRT)をしっかりと税金をかけて継続しているわけだから、それで十分であろうと思う。例えば秋田県では全国学力・学習状況調査に力を入れているが、子どもたちが外に出て、秋田県が一番大変な状況である。一方、鳥取県や島根県では、地域やふるさとを愛する教育を行い、お金だけではなく豊かな生活ができるという考えで人が残ったり、人が入って来ているということが言われている。そういうふうにもう1回考えてみてほしいと思う。すぐにとは言わないが、できるだけ早く新しい考え方でやったほうがいいと私は思っている。ただ、B学力については、じっくり考えたり、追究したり、挑戦したり、そういう力はやはり育てていくことが必要だと思う。

教 育 長

中野委員がおっしゃったように、この報告書が成果指標で、成果であり弱点であるので、弱点にどうお金を入れていくのかということ、この資料を基に財政課と話をしていかなければいけない。そういった資料であるので、毎年精度を上げていくべきだと思う。そのために、今話があったように、正しい物差しで測っているのかというのが1番大事だと思う。1学期が終わり、市長に総合的な子どもの育ち具合、成績、出席の状況等を報告に行った際にもこの話が出て、子どもの成績がいい所は、子どもが優秀なのか先生が優秀なのかという質問もあったが、以前にも学力については市長とかなり深い話をしたように、そこを定めていかないと、いつまでもブラブラしてしまうのもいけないし、結果が出なくても学習の習慣がついていれ

ばいいと思う。弱点は見えてきたと思うので、そこをどうあてていくか。逆に言うと、学校で1番大事なのが教育環境とすれば、最も大きい要素である先生方、今の自分達の学習がどう思われて、自分達で達成感があるかというのもとても大事なことだと思う。やらされ感ではなく、先生方が上越の子どもをしっかり育てるという気持ちになっていただけるような施策も考えていかなければいけないと思っている。いずれにしても、この報告書は皆様から意見をいただき、精査はできたと思っている。今後、議会に提出して公開される資料となるので、ご承知おきいただきたい。

それでは、議案第56号についてはご承認いただけるか。

原案どおり承認

閉会宣言

午後2時50分

平成30年9月28日

上越市教育委員会

教育長 野澤 朗

会議録署名委員 中野 敏 明